

様式第1号（第7条関係）

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和4年11月22日

和泉市長 あて

団体名 いずみの森の会

代表者名 浅見 肇一

所在地 和泉市伯太町6-8-32

電話番号 090-3627-7960

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	自然体験・工作体験事業
申請コース	(1) 公益活動支援コース ■ チャレンジコース □ ステップアップコース (2) 地域活性化コース □ 地域活性化コース
事業費総額	_____ 51,620 円 (うち、対象経費 _____ 51,620 円)
支援金 交付申請額	_____ 34,000 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(はい) ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	イズミノモリノカイ		
団体名	いずみの森の会		
団体の目的	本会は市民ボランティアによる森林の手入れ、健全な森林づくり活動を行い、併せて森林ボランティアや森林指導者の養成を行う。		
市内事務所の所在地	〒594-0023 和泉市伯太町6-8-32 浅見		
	【専用事務所 ・ <u>住居と兼用</u> ・ その他（ ）】		
電話	090 (3627) 7960	FAX	なし（ ）
フリガナ	アサミ ムネカズ		
代表者氏名	浅見 峯一		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをした ときに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ アサミ ムネカズ		電話 090 (3627) 7960
	浅見 峯一		FAX なし（ ）
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設立年月	平成17年3月	主な活動地域	和泉市中部・南部
会報等の発行	有（ 回発行）	<u>無</u>	会員数 50人
メールアドレス	[REDACTED]		
ホームページ	http:// なし		
主な事業内容	和泉市林業協議会主催の市民ボランティアによる「和泉の国の森づくり」に2003年から参加。森林ボランティアの養成講座のお手伝いや自然観察会・工作体験を毎年開催している。		
主な活動の実績	山主さんの要望で主に南横山地域で30カ所以上の森林整備を19年続けています。公園サポーターに登録して松尾寺公園と宮ノ上公園、かぐらざき公園で竹林などを整備中。和泉市農林業祭や緑化フェアなどで工作体験を出店しています。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	無	無	無

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	自然観察体験・工作体験事業
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース ■チャレンジコース □ステップアップコース (2) 地域活性化コース □地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 ひと昔前は、里山などで材料を調達して自分たちで日用品やおもちゃを製作していました。今は大量生産の時代で自然の恵みを利用して製作することが減っています。自然の恵みを利用して竹ポックリやどんぐり駒など簡単な工作でつくる楽しさを伝えます。それと自然の恵みを実感してもらいます。 公園サポーター活動で伐採した竹のほとんどは焼却処分されています。伐採した竹の一部ですが工作体験などに利用する取り組みも進めています。	
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 工作体験を通じて、子どもたちに作る楽しさや面白さを伝えることで、創造性豊かな子どもの育成に寄与します。 工作体験をした子どもは竹ポックリやカエルを親に自慢しています。自分だけの完成品にうれしそうな顔をします。その顔が素晴らしいです。 自然の材料を利用して、子どもたちに作る楽しさや面白さを知ってもらい、天然資源の豊かさを実感してもらおう。木の実などの採取を通じて自然のすばらしさを実感してもらいます。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
① 問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 一般の家庭でも身近な材料で簡単な工作できると思うのですが、道具や細かい材料を揃えるのにお金と時間が必要です。公園整備で伐採した竹やどんぐりを採取した材料を利用した工作を体験してもらい、工作の面白さを体験できる機会を提供します。体験を通じて自然の大切さを理解していただけるきっかけになればと思います。	
② 実施期間（日時）	5月から11月 農林業祭・まなびのプラザフェスタや独自に開催する体験会
③ 実施場所	宮ノ上公園、いずみ中央公園、内田町河川公園、その他
④ 主な対象者	子ども及び親子連れの家族
⑤ 参加予定者数	不特定（イベントの来場者に体験してもらおう） 体験者数の予想、竹ポックリ100人、竹カエル250人、どんぐりの駒づくり80人 観察会20人
⑥ 告知方法	イベント開催者からの出店告示、自主開催事業は図書館や公共施設にチラシの掲示を依頼します。

5 事業スケジュール	
次期（月）	内容
5月	まなびのプラザフェスタ（ノコギリ体験、竹カエル）
6月	内田町ホテルの観察会出店（ノコギリ体験、竹カエル）
10月	植物観察会（樹名板作成 and 手作り工作）
10月	まなびのプラザフェスタ（どんぐりの工作、竹ポックリ）
11月	農林業祭出店（ノコギリ体験、竹カエル&竹ポックリ）
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2 審査基準参照 （実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）	
① 公益性	和泉市の自然は和泉市民の宝です。貴重な自然を未来につなげるためには整備活動が必要です。森林や公園の整備をした時に色々な廃棄物が発生し、公園では景観の問題で伐採した竹は焼却処分しています。焼却する竹を利用して子どもたちの工作の材料に利用しています。子どもたちに作る楽しみや面白さを伝えることで、創造性豊かな子どもの育成に寄与しています。天然素材のすばらしさを実感してもらいます。廃棄物の減量という観点では効果は微々たるものですが。
② 継続性	いずみの森の会は市内のイベントで工作体験を10年以上出店しています。イベントのブースでいずみの森の会の宣伝もしています。子どもたちと工作するのが好きな会員も多く、これからも工作体験の機会を増やしたいです。出店時に募金のお願いや作品の販売をおこない、財源確保にも取り組みます。
③ 実行性	いずみの森の会は市民ボランティアの集まりですが、発足してから19年間継続して活動しています。森林整備や公園整備などを年20回以上実施し、参加者は延べ400名以上です。また、10年以上継続して活動している経験豊富なベテランさんも多く、工作体験に積極的に参加する会員も多いです。
④ 協働性	工作体験・自然観察会は和泉市林業協議会和泉市公共施設管理公社、内田町ボランティア蛸の会と連携して実施してきました。今後は、工作体験を開催したい団体に工作体験の道具の貸し出しや材料の竹の提供を検討します。
⑤ 公開性	会が主催する工作体験は公共施設にポスターの掲示を依頼します。各種団体が主催する大きなイベントに出店する時は主催団体のチラシに掲載されることもあります。また、出店時には看板を設置して宣伝しています。
⑥ 発展性 （先駆性・ 展開性） （集客性）	現在は、各種団体のイベントへの出店ですが、今後はイベントの回数を増やしたいです。出店時に「いずみの森の会」の活動を紹介するパネル展示も実施しています。工作のバリエーションを増やして面白さを広げています。

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第7条・第15条関係）

収支予算書

事業の名称： 自然観察体験・工作体験事業

1. 【収 入】 （単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	34,000円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入		
体験料・物品販売	4,600円	工作体験者の体験料・物品販売
体験者の寄付	2,020円	体験者の寄付
自主財源	11,000円	会員の寄付
合 計	51,620円	

2. 【支 出】 （単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
旅費	6,600円	交通費
消耗品費	43,520円	動眼、ヒートン、ボンド、紐、マーカー、サンドペーパー、テープ、ボンド、針金、ノコギリ、爪楊枝、電動式ドリル、消毒液等、体験時必要な消耗品
印刷製本費	600円	チラシ、ポスター（A4 カラー20枚等）印刷代
役務費	900円	保険代
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合 計	51,620円	
対象経費	51,620円	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。